

一般質問



通園バス減少中の幼稚園

● 渋川市の課題と 将来像

平方 嗣世 議員

大型事業追加は市の負担増

質問

21年度まで減少傾向にあった地方債は現在増加傾向。これは合併特例債依存と思うが考えは。

市長

合併特例債は、合併市町村合意のもと150億円以内で事業を行うよう進めてきました。地域振興基金、減債基金を積み立て後年度負担に対応したいと考えます。

人口減少対策

質問

今、渋川市は全国、県の水準を上回る人口減少自治体。福祉、教育、定住を促す渋川の魅力づくりの考えは。

市長

県と連携し企業誘致を進めるとともに、伊香保温泉を中心とした観光振興、農業、工業及び高齢者対策にも取り組んでいきます。

市長の企業誘致

質問

市長就任以来の企業訪問はわずか9企業、それもすべてが市内企業。市内外企業を精力的に訪問するのが真のトップセールスと思うが、市長の考えは。

市長

市内企業訪問もトップセールスです。受け皿をつくりながらオーダーメイド方式や地権者会をつくり、トップセールスを行う。

かに石幼稚園通園バス復帰を

質問

1年半前から早急の善処や保護者との話し合いにより進めると発言。1年以上もたった現在も結論を出せない状態、全然対応していなかった証である。市長の費用対効果発言は教育行政の禁句であり、失態。今後の対応は。

市長

園児数の減少や他の幼稚園とのバランスを考えて、現状のまま一台で運行し、様子を見ていきたいと考えます。

● 市民の権利 選挙について

須田 勝 議員

改善と見直し

質問

選挙ポスター掲示板設置場所、広報紙配布方法、投票所不具合の安全化、衆議院選挙区の統一等、改善と見直しは。

総務部長

ポスター掲示板設置場所については、見直しを行います。選挙広報紙の配布は、新聞折り込みによる方法で配布します。投票所の安全化については、安心安全な投票所になるよう努めます。選挙区の統一については、引き続き国に要望していきます。

阿久津市政の続投は

質問

昨年10月、観光誘致目的で台湾を訪問し、佛光山寺へ行き、僧侶と水沢に佛光山寺院建設の話し合いをしたと、多くの市民から聞くが事実か。観光誘致から逸脱した日本国憲法第89条又第20条に違反するのではないか。

市長

台湾の台北市で毎年開催される台湾国際旅行博に参加し、伊



建設中の佛光山寺

香保温泉を中心に観光宣伝を行いました。また、東日本大震災における義援金及び支援物資等のお礼を申し上げるため、高雄市にある佛光山寺を訪問しました。

質問

市長3年半の市民評価は、一部の建設業者に多くの公共事業を発注し、市民に負担をかけた感じがする、自己評価は。また2期目の市政を目指すのか。

市長

就任以来、市民の幸せと本市の発展のため、誠心誠意、一生懸命職務に取り組んできました。最終的な評価は、市民の皆さまにしていたくものと考えます。市政の2期目については、後援会の皆さんと相談をして決断したい。

一般質問

●「弁当の日」の導入 ●消防団年金制度の導入

● 一歩進んだ 「まちづくり」

中澤 広行 議員



おいしいお弁当

質問 弁当の日は、群馬県内でも導入する学校が増えている。自分のお弁当を自分ひとりで買い出しから調理、後片付けまでする。そのことにより、将来、自立したときに進んで自炊をして、大事な生きる力が身に付くというもの。保護者の理解が得られた学校からモデル校に指定して、実施する

考えがあるか。

教育長 学校や地域の実情が異なるので、学校がPTAや家庭等と相談し、主体的に判断して取り組めるよう支援したいと考えます。

質問 消防団は、地域の防災力の礎です。人口減少を受け、入団者数も減少している昨今、退団者を対象に予備役とする考えはあるか。その際、年金制度を導入してはどうか。

総務部長 消防力の維持に年金制度は有効と考えますが、市が独自に制度を創設するのは困難です。

質問 人口減少社会では、まちのコンパクト化が必要です。公共施設も再編が必要です。総合支所のあり方についての考えは。

企画部長 具体的な見直し計画は定めていませんが、簡素で効率的な組織機構が重要と考えています。

質問 日帰り温泉など指定管理施設を将来、売却する考えは。

市長 公の施設については、各施設ごとに民間譲渡を含めた検証を行い、今後の考え方を整理します。

質問 第三セクターを解散するなど整理する考えは。

総務部長 今後のあり方について、抜本的な対策を検討する必要がある、第三セク側と協議を進めます。

● 甲（よろい）を着た古墳人 今後の市の対応は

安力川 信之 議員

財政の将来負担の見える化を

質問 公の施設の更新計画を早急に策定すべき。そのために公共施設白書を作成する考えは。

企画部長 適正な施設管理を行う上で、その必要性は認識しています。公共施設白書の作成にあたっては、施設の詳細な現状把握に時間を要することが想定されますが、作成に向けて取り組んでいきたいと考えています。

生活保護水準以下の低所得者支援策を急げ

質問 低所得者の頑張りでセーフティーネットが守られている。福祉窓口のワンストップ化や支援策は。また住居困難者の支援のために民間アパートなどの活用は。

保健福祉部長 生活保護の支援対象とならない世帯については、その世帯で生活を圧迫している問題点を探り、その解決のための助言や、他の福祉施策を案内紹介する



甲（よろい）を着た古墳人

など、ワンストップ化に努め福祉部局等との連携に努めます。

また、民間アパート活用については、今後検討したいと思えます。

質問 埋蔵文化財の活用で地域おこしを
赤城・北橘歴史資料館の統合や、県埋蔵文化財事業団との連携で、埋蔵文化財の全国発信できるまちづくりを。

生涯学習部長 歴史資料館については、中長期的な課題として検討を行っていきます。

金井東裏遺跡から発見された「甲装着人骨」などの貴重な埋蔵文化財は、県などと連携し、地域の資産として街づくりに生かしていきたいよう検討していきます。